



24

()

24

2607

URL <http://www.fuji-oil.co.jp>

()

()

()

()

(TEL) 03-5418-1044

24 13

24

23

23 12 31

()

()

()

24	180,649	8.1	10,349	23.9	10,186	23.3	6,558	24.2
23	167,056	3.8	13,595	6.8	13,278	5.6	8,652	5.3

() 24 4,671 (18.7) 23 5,749 ()

24	76.30
23	100.65

24	182,839	106,001	55.2
23	174,435	103,220	56.4

() 24 100,922 23 98,323

23		12.00	12.00 24.00
24		12.00	
24 ()			12.00 24.00

()

24

23

24

31

()

	248,600	11.6	13,400	19.2	13,000	20.0	8,300 15.2 96.56

()

()

)

24	87, 569, 383	23	87, 569, 383
24	1, 608, 883	23	1, 608, 781
24	85, 960, 565	23	85, 961, 225

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興に向けた回復の兆しが見られましたが、原子力発電所の事故に伴う電力不足や放射性物質問題が長期化の様相を見せており、円高・デフレ基調の長期化・雇用環境の低迷と相まって厳しい状況が続きました。また海外では欧州の金融・財政不安が拡大し、タイの洪水被害が発生するなど、国内外で不透明な経済情勢が続きました。

当社グループを取り巻く食品業界でも、消費者の節約志向・低価格志向は依然強く、また、主要原料価格や燃料価格が引き続いて高値で推移するなど、厳しい事業環境が続きました。

このような状況の中、当社グループは新中期経営計画「Global & Quality 2013」を掲げ、「グローバル経営の推進」、「技術経営の推進」、「サステナブル経営の推進」を方針として、顧客ニーズに即した製品開発、高機能素材の供給、生産コストの削減に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は1,806億49百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益は103億49百万円（前年同期比23.9%減）、経常利益は101億86百万円（前年同期比23.3%減）、四半期純利益は65億58百万円（前年同期比24.2%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(油脂部門)

国内では、主要原料価格の上昇によりチョコレート用油脂の採算は悪化しましたが、ヤシ油・パーム油・フライ用油脂の販売が好調に推移し、増収・増益となりました。

海外では、チョコレート用油脂は、ココアバター相場下落の影響を受けて販売価格が下落し減収・減益となりました。パーム油は、原料価格が高値で推移し売上高は前年同期を上回りましたが、採算悪化のため減益となり、海外全体では、増収・減益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は761億30百万円（前年同期比15.9%増）、セグメント利益（営業利益）は31億59百万円（前年同期比41.4%減）となりました。

(製菓・製パン素材部門)

国内では、業務用チョコレートは、カラーチョコの販売が減少し減収・減益となりました。マーガリン・ショートニングは、パン用が増加し増収となりましたが、原料価格の上昇により減益となりました。製菓・製パン素材輸入販売は、粉乳調製品・ココア調製品・バター調製品が増加し増収・増益となりました。

海外では、業務用チョコレート、クリーム、マーガリン・ショートニングの東南アジアでの販売が好調に推移し売上高は前年同期を上回りましたが、原料価格上昇により採算が悪化し減益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は767億円（前年同期比5.4%増）、セグメント利益（営業利益）は54億51百万円（前年同期比19.4%減）となりました。

(大豆たん白部門)

国内では、大豆たん白素材が、米国ソレイ社との合弁解消により水産用途、健康食品用途の売上高が減少しましたが、冷食・惣菜用途、加工食品用途が好調に推移し、増収・増益となりました。大豆たん白機能剤は、発酵培地用途と輸出が増加しましたが、飲料用途・弁当給食市場向けが減少し、減収・増益となりました。大豆たん白食品は、即席麺市場・弁当給食市場向けが増加し増収となりましたが、利益面では前年同期を下回りました。豆乳の売上高は前年同期を上回り、利益面でも改善しました。

以上の結果、当部門の売上高は278億18百万円（前年同期比2.7%減）、セグメント利益（営業利益）は17億38百万円（前年同期比21.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ84億4百万円増加し、1,828億39百万円となりました。

主な資産の変動は、現金及び預金の増加20億33百万円、受取手形及び売掛金の増加116億41百万円、たな卸資産の減少10億70百万円、有形固定資産の減少33億31百万円、投資その他の資産の減少4億33百万円であります。

有利子負債（リース債務は除く）は、前連結会計年度末に比べ38億78百万円増加し、435億99百万円となりました。

主な純資産の変動は、剰余金の配当20億63百万円と四半期純利益65億58百万円により利益剰余金が44億96百万円増加したこと、及びその他の包括利益累計額の18億97百万円の減少等であります。

以上の結果、自己資本比率は55.2%、1株当たり純資産は1,174円5銭となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ19億32百万円増加、前第3四半期連結累計期間末に比べ5億89百万円増加し、87億74百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で6億66百万円減少し、45億51百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益99億71百万円、減価償却費65億94百万円、仕入債務の増加額36億17百万円等による収入が、売上債権の増加額121億1百万円、法人税等の支払額41億30百万円等の支出を上回ったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で11億50百万円支出が減少し、48億50百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出45億36百万円等があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で16億42百万円増加し、24億36百万円の収入となりました。これは主に、短期借入金等による資金調達額の純増加額33億40百万円、長期借入れによる収入29億28百万円、長期借入金の返済による支出16億92百万円、配当金の支払額20億63百万円等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月4日発表の通期業績予想は修正しておりません。今後の事業環境の変化を見極めた上で、見直しの必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,864	8,897
受取手形及び売掛金	41,514	53,155
商品及び製品	18,149	17,413
原材料及び貯蔵品	16,431	16,097
繰延税金資産	1,022	668
その他	2,300	2,343
貸倒引当金	△116	△94
流動資産合計	86,166	98,482
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,196	29,243
機械装置及び運搬具（純額）	27,828	25,181
土地	15,576	15,555
建設仮勘定	2,207	1,471
その他（純額）	1,320	1,346
有形固定資産合計	76,128	72,797
無形固定資産	1,325	1,180
投資その他の資産		
投資有価証券	8,121	7,769
繰延税金資産	745	798
その他	2,198	2,019
貸倒引当金	△254	△208
投資その他の資産合計	10,811	10,378
固定資産合計	88,265	84,356
繰延資産	3	—
資産合計	174,435	182,839

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,408	21,726
短期借入金	13,515	14,299
コマーシャル・ペーパー	3,000	5,000
1年内償還予定の社債	20	20
1年内返済予定の長期借入金	3,294	5,711
未払法人税等	2,705	1,253
賞与引当金	1,653	921
災害損失引当金	170	9
その他	5,351	6,285
流動負債合計	48,119	55,227
固定負債		
社債	5,060	5,050
長期借入金	14,831	13,518
繰延税金負債	843	548
退職給付引当金	1,756	1,878
役員退職慰労引当金	400	394
その他	203	221
固定負債合計	23,095	21,610
負債合計	71,215	76,837
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,208	13,208
資本剰余金	18,324	18,324
利益剰余金	76,399	80,895
自己株式	△1,745	△1,746
株主資本合計	106,187	110,682
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,040	972
繰延ヘッジ損益	159	△70
為替換算調整勘定	△9,063	△10,661
その他の包括利益累計額合計	△7,863	△9,760
少数株主持分	4,896	5,078
純資産合計	103,220	106,001
負債純資産合計	174,435	182,839

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	167,056	180,649
売上原価	131,641	148,660
売上総利益	35,414	31,989
販売費及び一般管理費	21,818	21,640
営業利益	13,595	10,349
営業外収益		
受取配当金	155	166
その他	267	307
営業外収益合計	423	474
営業外費用		
支払利息	527	479
その他	213	157
営業外費用合計	740	636
経常利益	13,278	10,186
特別利益		
投資有価証券売却益	89	—
特別利益合計	89	—
特別損失		
固定資産処分損	281	127
投資有価証券評価損	—	55
災害による損失	—	32
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37	—
特別損失合計	319	215
税金等調整前四半期純利益	13,048	9,971
法人税、住民税及び事業税	3,534	2,724
法人税等調整額	436	419
法人税等合計	3,971	3,143
少数株主損益調整前四半期純利益	9,077	6,827
少数株主利益	425	268
四半期純利益	8,652	6,558

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,077	6,827
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△397	△69
繰延ヘッジ損益	△406	△230
為替換算調整勘定	△2,511	△1,833
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	△21
その他の包括利益合計	△3,327	△2,155
四半期包括利益	5,749	4,671
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,515	4,658
少数株主に係る四半期包括利益	233	13

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,048	9,971
減価償却費	6,934	6,594
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	224	129
受取利息及び受取配当金	△173	△193
支払利息	527	479
売上債権の増減額 (△は増加)	△10,808	△12,101
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,336	159
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,496	3,617
その他	△327	277
小計	10,585	8,934
利息及び配当金の受取額	173	193
利息の支払額	△491	△446
法人税等の支払額	△5,051	△4,130
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,217	4,551
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,143	△4,536
その他	△856	△313
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,000	△4,850
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,539	1,340
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	5,000	2,000
長期借入れによる収入	1,028	2,928
長期借入金の返済による支出	△1,788	△1,692
社債の発行による収入	5,000	—
社債の償還による支出	△10,010	△10
配当金の支払額	△2,320	△2,063
その他	345	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー	794	2,436
現金及び現金同等物に係る換算差額	△254	△201
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△242	1,936
現金及び現金同等物の期首残高	7,873	6,842
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	554	—
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△4
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,185	8,774

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	65,682	72,789	28,583	167,056	—	167,056
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,021	56	313	7,392	(7,392)	—
計	72,704	72,846	28,897	174,448	(7,392)	167,056
セグメント利益(営業利益)	5,395	6,764	1,435	13,595	—	13,595

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位：百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客に対する売上高	117,912	25,687	13,745	9,710	167,056	—	167,056
セグメント間の内部売上高 又は振替高	80	24,377	560	17	25,035	(25,035)	—
計	117,992	50,065	14,305	9,727	192,091	(25,035)	167,056
セグメント利益(営業利益)	8,792	2,665	1,367	604	13,430	165	13,595

(注) 1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域…アジア：シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、インドネシア
米州：米国
欧州：ベルギー

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	76,130	76,700	27,818	180,649	—	180,649
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,475	103	518	10,096	(10,096)	—
計	85,605	76,803	28,337	190,746	(10,096)	180,649
セグメント利益(営業利益)	3,159	5,451	1,738	10,349	—	10,349

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位：百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客に対する売上高	126,824	27,932	13,985	11,908	180,649	—	180,649
セグメント間の内部売上高 又は振替高	70	27,588	580	23	28,262	(28,262)	—
計	126,894	55,520	14,565	11,931	208,912	(28,262)	180,649
セグメント利益(営業利益)	8,347	1,142	421	282	10,192	156	10,349

(注) 1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域…アジア：シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、インドネシア、タイ
米州：米国
欧州：ベルギー

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。